

エリザベス・アロヨ女史 & ドン・アレハンドロ氏 札幌講演会

2012年 いま私たちに必要な行動

マヤのカレンダーを継承するデイキーパーとして、またグアテマラ前大統領の側近として活躍されているドン・アレハンドロ・シリロ・オクスラ氏と、彼のパートナーとして公私共に活動され、最近では叡智を伝えるグランドマザーとして注目を集めるエリザベス・アロヨ女史、このおふたりを日本にお招きいたします。2012年は、マヤの長期暦が終焉を迎えるということで、世界中で話題になっていますが、ドン・アレハンドロ氏は、正統なる教えを世界に広めるために、またエリザベス・アロヨ女史は、先住民族の叡智と調和の取れた母系社会のあり方について、それぞれ重要なメッセージを携えて来日されます。今回は、マヤと日本との絆をさらに深める貴重な来日となります。

Don Alejandro Cirilo Oxlej (ドン・アレハンドロ・シリロ・オクスラ)
マヤの第13代・キチェ(Quiche)高等神官

若くしてマヤ住民たちからマヤの伝統的な文化の継承者として認められる。マヤ長老協議会(440人の長老=男女を含めた=から成る協議会)の会長。この協議会は23の部族を束ねるもので、その代表をドンが務める。ドンのマヤ名は“Wakatel Utiw”(ワカテル・ウティ)。“さまよえる狼”という意味である。

Elizabeth Araujo (エリザベス・アロヨ) 氏とともに世界中をまたにかけて旅を重ねてきた。マヤの予言の守護者であり、マヤのセレモニーを執り行なう。アレハンドロ氏が受けた啓示の一つとして、人類は2010年頃に二つの異なる道をとる可能性があり、一方は、世界戦争、廃墟、崩壊をもたらし、もう一方の道は、人類の平和、先祖の治癒、地球の浄化をより多く達成するという。そのために、氏は何千年も行なわれてきた伝統的なマヤの「火の儀式」を通じて、人類の心に宿る目覚めの炎を活性化するために、世界中を旅している。ドンは同時に「アメリカ土着住人協議会」の頭(かしら)をも務める。この協議会のメンバーは、アルゼンチンからアラスカまでの広範囲の土着住人を対象にしたものである。

Elizabeth Araujo (エリザベス・アロヨ)

エル・サルバドルで育ったグランマ・エリザベスは心温かく、思いやり溢れる人柄です。文化の境界線を越えて活動を続けてきました。彼女の優しい魂と明確な意志は、受け入れること、愛すること、許すことという空気感をももたしめます。マヤ民族長老評議会のコーディネータ及び、通訳として世界中を旅し、母なる地球との統一、バランス、ハーモニーをもたらすために、各地でのセレモニーや会議へと招聘されています。エリザベスは神聖な火と共にマヤ伝統の癒しのセレモニーを行ったり、聖なる場所へのスピリチュアルな旅のガイドを行っています。

【とき】2012年6月20日(水) 開場18時・開演18時30分

【会場】札幌市生涯学習センター ちえりあ 講堂 (札幌市西区宮の沢1-1-10 地下鉄東西線 宮の沢駅直結)

【入場券】◆前売券 5,000円 ◆当日券 6,000円 ◆特別割引券 4,000円

(ファイヤーセレモニー協賛金 5,000円以上いただいた方)

前売り券のご購入は、E-mail または FAX にて
お名前、ご連絡先、希望枚数をご連絡ください。

ceremony@inorinowa.org

FAX 03-6369-4862

折り返し、振込金額及び振込先をご連絡いたします。

【ドン・アレハンドロ マヤ・ファイヤーセレモニー 協賛金募集】

講演会に先立ち、6月16日(土)には 富士いのりのセレモニー2012 in 山中湖にて来賓ゲストとしてお話しして頂きます。翌日6月17日(日)には山中湖近辺にてマヤの伝統的な火の儀式 ファイヤーセレモニーを執り行います。合わせてご参加ご検討下さい。詳細>> <http://inorinowa.org/ceremony/>

※17日のファイヤーセレモニーは、今年、この時期に行うのははととても重要なスピリチュアル的な意味があるそうです。このセレモニーを成功させるために資金的な援助をお願いしております。協賛して頂ける方は下記口座にぜひお願いいたします。また、お振込み頂いた時にはその旨ご連絡ください。

ゆうちょ銀行 七〇八店 普通 0275241
(記号-番号 17030-2752411)
こころのかけはし祈りのセレモニー事務局

主催：一般社団法人こころのかけはし祈りの和
〒904-0006 沖縄県沖縄市八重島 1-2-13
TEL 098-937-5613 FAX 03-6369-4862

<http://inorinowa.org>